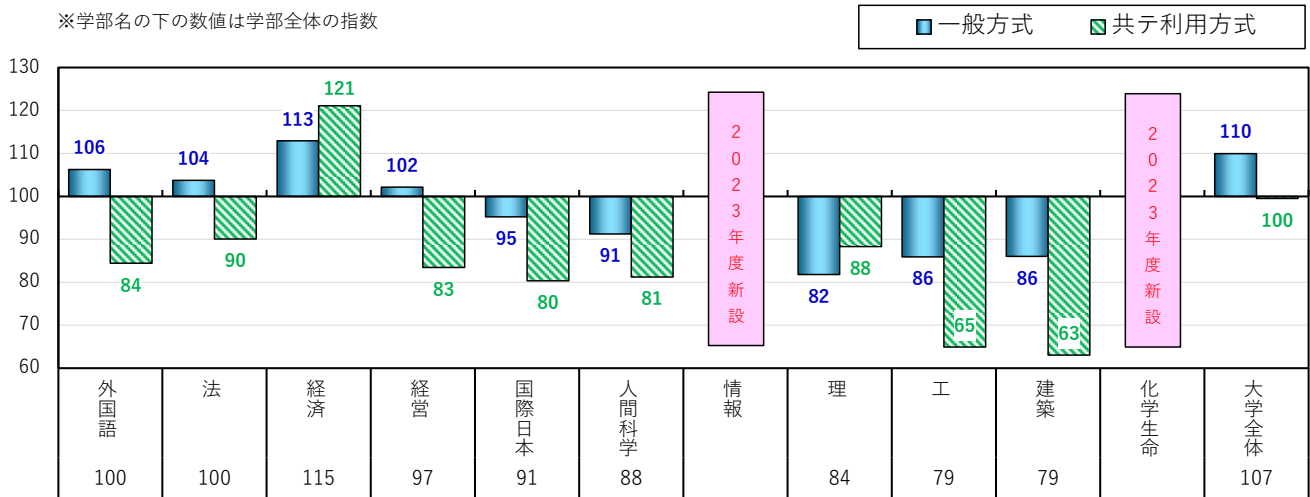


神奈川大：大学全体では学科を学部への変更やキャンパス移転効果でやや増加 一般：+2,120人 共テ：-43人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数



主な入試変更点

キャンパス移転：理…湘南ひらつかキャンパス→横浜キャンパス
 学部新設：情報(計算機科学、システム数理、先端情報領域プログラム)
 化学生命(応用化、生命機能/応用化学、生命機能学、環境生活科学)
 学科改組：理(生物科学、化学、情報科学、数理・物理、総合理学プログラム) ※4学科1プログラム
 →理(理/生物、化学、総合理学、数学、物理、地球環境科学) ※6コース
 工(物質生命化、機械工、情報システム創成、建築、電気電子情報工、経営工、総合工)
 →工(機械工、電気電子情報工、経営工、応用物理)
 出願方法：理(生物を除く)<一般・前期A>…同一試験日に複数の異なる学科、異なる方式の併願不可
 →同じ学部内に限り、複数学科・コースを同一日程内で併願が可能 ※同一日程併願割引有り
 工<一般・前期A方式>…同一試験日に複数の異なる学科、異なる方式の併願不可
 →同じ学部内に限り、複数学科・コースを同一日程内で併願が可能
 ※同一日程併願割引有り
 選抜方法：工(機械工、電気電子情報工)<一般・前期B>…新設
 入試科目変更：理(生物)<一般・前期A>…外+数(数I、II、III、A、B)+理→外+理+{(国or数(数I、II、A、B))
 経済(現代ビジネス)<一般・前期B>…外、国、英(リスニング)→{(外、国、数、歴公)→2} ※数、歴公からの2科目選択不可
 経営<一般・前期B>…(外、国、英(リスニング)、数、歴公)→2 ※数、歴公からの2科目選択不可
 →(外、国、数、歴公)→2 ※数、歴公からの2科目選択不可
 外国語(英語英文/IES)…外、国、英(リスニング)→外、国
 理(総合理学)<一般・前期B>…(外or国)+(数or理) ※数は数I・II・Aor数I・II・A・Bから選択
 →{(外、国、数、理)→2} ※数は数I・II・III・A・B
 工(機械工)<共テ併用・前期C>
 …<共テ>理(物、化、生、地学、物基+化基から選択)→理(物、化、物基+化基から選択)
 理(総合理学)<共テ・前期><共テ・後期>…外+数+(国or理)→{(外、国、数、理)→3}
 ※数{(数I、A)or(数II、B)} →数(数I、II、A、B)
 ※理(物or化or生or地学or理基2)→理(物or化or生or地学)
 工(機械工、電気電子情報工、経営工)<共テ・前期><共テ・後期>…外+数+理→数+{(外or国or理)→2}

COMMENT ※ () 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、2,077人(107)のやや増加で2年連続増加。なお、新設の情報、化学生命は旧理(情報科学)、旧工(情報システム創成)および旧工(物質生命化)がもとになっている。新設に関係のない7学部では5学部が減少。特に、建築(79)は大幅減少。一方で、経済(115)は大幅増加。方式別では、一般方式は2,120人(110)の増加。新設に関係のない7学部では4学部が増加。増加では経済(113)、減少では建築(86)が増減率10%以上。共通テスト利用方式は43人(100)の微減。新設に関係のない7学部では6学部が減少、その中の5学部が大幅減少、特に建築(63)は減少率が目立った。一方で、唯一増加の経済(121)は大幅増加。

<一般方式>

- 外国語(106)は、2年連続やや増加。学科・プログラム別では4募集単位中3募集単位が増加。(スペイン語)(119)は大幅増加で2年連続増加、(英語英文/GEC)(114)は2年連続減少の反動で増加、(英語英文/IES)(111)は2年連続増加。一方で、(中国語)(69)は大幅減少、2019年度以降は前年度の反動による増減が継続。
- 法(104)は、前年度大幅増加に引き続き、やや増加で2年連続増加。学科別では、(自治行政)(115)は2年連続大幅増加、(法律)(100)は前年度大幅増加の反動はなく前年度並。
- 経済(113)は、前年度大幅増加に引き続き、増加で2年連続増加。学科・専攻別では3学科・専攻全てが増加。(現代ビジネス)(123)は2年連続大幅増加、(経済/現代経済)(109)は2年連続増加、(経済/経済分析)(105)は前年度大幅増加に引き続きやや増加で2年連続増加。
- 経営(102)は、微増だが募集人員の増加率6%を下回る増加率で、志願倍率は11.8倍→11.3倍にダウン。方式別では、<給費

生>(125)は大幅増加。2月募集の<一般・前期A>(95)はやや減少、<一般・前期B>(62)は2年連続大幅減少。一方で、3月募集の<一般・後期A>(119)は大幅増加。

- 国際日本(95)**は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。学科別では、3学科全てが減少。(日本文化)(91)は前年度大幅増加の反動で減少、(国際文化交流)(97)はやや減少で3年連続減少、(歴史民俗)(98)は微減。
- 人間科学(91)**は、前年度大幅増加の反動で減少。方式別では、2月募集の<一般・前期A>(83)が大幅減少。
- 情報**は新設だが、もともなった旧理(情報科学)、旧工(情報システム創成)の合計との比較では、募集人員5人(7%)増加、志願者数は81人(105)のやや増加。志願倍率は21.7倍→21.3倍とほぼ変化なし。
- 理(82)**は、4学科1プログラムから1学科6コースへの改組を行ったが、募集人員の45%減少により大幅減少。ただし、新設の情報のもとになった旧(情報科学)を除くと、(116)で2年連続大幅増加、志願倍率も15.8倍→22.0倍にアップ。湘南ひらつかキャンパスから横浜キャンパスへの移転効果が影響。
- 工(86)**は、学科改組で募集人員が減少率38%の大幅減少だったことにより、大幅減少。ただし、新設の情報のもとになった旧(情報システム創成)、新設の化学生命のもとになった旧(物質生命化)を除くと、(125)の大幅増加、志願倍率も14.5倍→17.6倍にアップ。
- 建築(86)**は、新設2年目だが前年度旧工(建築)から学部への改組で約2.8倍増だった反動で減少。学科・学系別では、(建築/建築)(85)は大幅減少、(建築/都市生活)(88)は減少。
- 化学生命**は新設だが、もともなった旧工(物質生命化)との比較では、募集人員は3人(5%)増加、志願者数は979人(377)の約3.8倍増、志願倍率も5.4倍→19.3倍に大幅アップ。学科を学部とした効果が大きく影響した。

<共通テスト利用方式>

- 外国語(84)**は、大幅減少で4年連続減少。学科別では、3学科中2学科が減少、(英語英文/IES)(79)は大幅減少、(スペイン語)(83)は大幅減少で3年連続減少。一方で、(中国語)(119)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 法(90)**は、前年度増加の反動で減少。学科別では、(自治行政)(67)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。(法律)(102)は2年連続微増。
- 経済(121)**は、4年連続減少の反動で大幅増加だが、2018年度対比では減少率40%以上。学科・専攻別では、3学科・専攻全てが増加。特に、(経済/経済分析)(241)は前年度半減以下の反動で約2.4倍増。(現代ビジネス)(112)、(経済/現代経済)(110)はいずれも4年連続減少の反動で増加だが、その反動は小さかった。
- 経営(83)**は、前年度増加の反動で大幅減少。志願者数は6年ぶりに1,000人を下回った。方式別では、2月募集では<共テ併用・前期C>(47)が半減以下、<共テ・前期4教科>(79)が大幅減少。3月募集では<共テ・後期3教科>(60)が大幅減少。一方で<共テ・後期4教科>(167)は激増。
- 国際日本(80)**は、大幅減少で3年連続減少。3学科全てが減少、特に(日本文化)(60)の大幅減少が目立った。
- 人間科学(81)**は、大幅減少で2年連続減少。
- 情報**は新設だが、もともなった旧理(情報科学)、旧工(情報システム創成)の合計との比較では、募集人員は10人(27%)増加、志願者数は60人(110)の増加。志願倍率は16.5倍→14.3倍にダウン。
- 理(88)**は、4学科1プログラムから1学科6コースへの改組を行ったが、募集人員の42%減少により減少。ただし、新設の情報のもとになった旧(情報科学)を除くと、(119)で大幅増加、志願倍率も12.3倍→20.2倍にアップ。湘南ひらつかキャンパスから横浜キャンパスへの移転効果が影響。
- 工(65)**は、学科改組で募集人員が減少率50%の大幅減少だったことにより、大幅減少。ただし、新設の情報のもとになった旧(情報システム創成)、新設の化学生命のもとになった旧(物質生命化)を除くと、(94)のやや減少。しかし、志願倍率は11.6倍→14.1倍にアップ。
- 建築(63)**は、新設2年目だが大幅減少。学科別では、(建築/都市生活)(57)、(建築/建築)(68)のいずれも大幅減少。
- 化学生命**は新設だが、もともなった旧工(物質生命化)との比較では、募集人員は1人(3%)減少、志願者数は439人(325)の約3.3倍増、志願倍率も5.6倍→18.9倍に大幅アップ。学科を学部とした効果が大きく影響した。